

2019-7-5

## 遺伝子組換え青紫色ファレノプシスの栽培試験の様子

生育特性調査等のために昨年 11 月末に搬入した遺伝子組換えファレノプシスの開花が 4 月下旬ごろから始まっていて、現在も開花が続いています。また、2019 年 6 月 25 日から生育初期の高温耐性試験および成苗の越夏性試験を実施しています。2018 年 12 月 10 日から行っていた幼苗の低温耐性試験および成苗の越冬性試験は 2019 年 2 月 14 日に問題なく終了しました。

### 1. 形態および生育特性に関する調査

目的：花の形態、花色等に関する調査および植物体の形態や生育特性に関しての調査の他、自殖による種子の産生能、訪花昆虫相、有害物質産生性についても比較調査する。

材料：2018 年 11 月 29 日および 30 日、石原産業株式会社（滋賀県）より、植物が漏出しない容器に入れ陸路で運搬し、直接隔離ほ場のビニールハウス内へ搬入

植物体（成体）・・・組換えファレノプシスおよび非組換えファレノプシスの鉢植え各 25 個体

栽培管理：温風器で加温しつつ、10 日～2 週間に一度灌水（写真奥）

### 2. 生育初期の高温耐性および越夏性に関する調査

目的：生育初期の高温耐性および成苗の越夏性を評価する

材料：2019 年 6 月 20 日、石原産業株式会社（滋賀県）より、植物が漏出しない容器に

入れ陸路で運搬し、直接隔離ほ場へ搬入。5 日間、ビニールハウス内で栽培後、6 月 20 日屋外へ移動し試験開始

幼苗・・・組換えファレノプシスおよび非組換えファレノプシスの鉢植え各 5 個体

植物体（成体）・・・組換えファレノプシスおよび非組換えファレノプシスの鉢植え各 5 個体

栽培管理：生育初期の高温耐性試験用の幼苗および越夏性試験のための植物体は、隔離ほ場内に設置した架台の下に置き、防鳥網をかけて栽培（写真手前）。ただし、台風などの強風・大雨の恐れがある場合には、一時的に隔離ほ場内のビニールハウス内に移動。10 日～2 週間に一度灌水。

